

頑張れ米女!

よね じょ

米沢女子高校部活動後援会

NO. 9 1999. 3.



3年生を送る会で発表する文化系各部 上から：演劇部・吹奏楽部・ジャズダンス愛好会・音楽部

多くの人たちに支えられ

部活動後援会長 中村 隆志



この一年、御父兄の皆様及び部活動を支えて頂きました皆様のご支援に心より

感謝申し上げます。

お陰様でこの一年間、生徒たちは期待以上の活躍をしてくれたと思っておりますし、彼女たちの頑張りに暖かい拍手を送り賞賛したいと思えます。

今年も皆様がご存じの通り各種大会は『米沢女子高等学校』の名前を背負った最後の出場でありました。それ故選手の方々にはそれなりのプレッシャーと責任を抱きながらの戦いだと思っております。これを見事に克服され頑張ってくれました。とりわけインターハイ百メートルハードルに於いて原田真理子さんの優勝は我々応援する者や先生方及び指導者を本当に喜ばせてくれました。またそれ以外の選手もあらゆる場面で十分な力を発揮し『米沢女子校ここにあり』と米沢女子高校の名を高めてくれた事に感謝すると共に、部活動後援会の士気もたかまつたのであります。

この節目に活躍出来た在校生は青春の良き思い出の一ページとして何時ま

でも心に残ると思いますが、先生方及び指導者の方々そして御父兄始め関わりあつた一人一人がこの『米沢女子校』の歴史を見守った証人でもある訳ですから誠に有意義な一年で有つたのです。多くの人に支えられて伝統は守られていきます。またその人が多くを支えて歴史が創られて行きます。我々は歴史と伝統のある『米沢女子高等学校』から新たな伝統を創り始める『九里学園高等学校』に変わる大きな節目に遭遇した事になると思えます。

いよいよ来年度からは『九里学園高等学校』として男子共々の出場になります。この部活動後援会もまた新たな出発をしなければならぬと思えます。しかし生徒が頑張る事に対する対しての惜しみ無い協力をする事についての基本的な行動は従来と全く変わりなく続く事でしょう。そして九里学園高等学校は来たる百周年と共に新たな輝かしい活躍をしてくれるものと確信しております。



学園の新たな出発にむけて

校長 九里 廣志



新年を迎え、まだ日も浅い一月九日、平成十一年度の奨学生・推薦生の入学試験

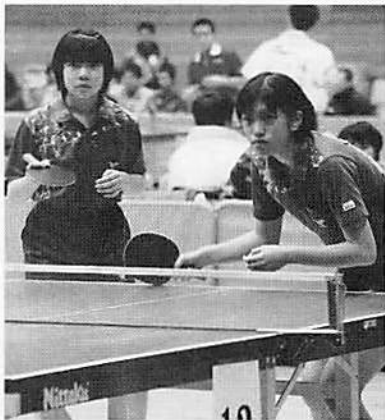
が行われました。新たに男子生徒を迎え、『九里学園高等学校』としての学園づくりのスタートの私見です。どのような特性を持った生徒が、どれだけこの新しい体制の学校に挑戦してくれるのか、学校の将来を占う恰好の材料となります。

奨学生・推薦生の男女合計四九名の合格者をだしました。(そのうち男子は十五名です。) 各々の特性を遺憾なく発揮してくれたの合格です。奨学生は実技試験の他に学科試験も行われ、特に奨学生には、全員について、私も面接をさせていただきました。わずかな時間での面接でしたが、一人一人の新生九里学園に対する期待や思いが伝わってきました。このような高い意識の生徒たちで学園が埋めつくされる時が来ることを期待しながら、満足感で一杯でした。

例年、学業面での頑張りや勿論のこと、生徒会活動や部活動で頑張りたいという希望の受験者が多く、『元気の

よい学校』へのエネルギーとして、私たちはとても嬉しく、また頼もしく思っています。特に男子の受験生たちは、『自分たちが初めての部員』ということもあり、歴史の第一歩を記す使命感を持ってきています。「インターハイ出場をめざして頑張る!」「国立の舞台に立ちたい!」熱のこもった彼らの言葉に、私たちもこの思いを是非達成できるよう、最大のバックアップをしてやりたいとの思いに駆られました。

二月四日・五日に行われた一般入試でも、男子は予想以上の受験生で、専願合格(奨学生・推薦生を含む)で五名の合格者です。これまた、本校に熱い期待感を持った者たちです。特に部活動では男子が加わり、部活動後援会にお願ひすることも多くなると思えます。ご協力をお願いします。



卓球部

東北高校選抜卓球大会を

振り返って

顧問 大滝 勤

平成十一年二月四日から七日まで山形県天童市の県総合運動公園体育館にて全国選抜大会の東北ブロック予選が行われ、インフルエンザが流行する中、チームのコンディションは決して万全とはいえない状況で、大会を迎えることになった。組み合わせは昨年と比べると大変厳しく東北の強豪、古豪がひしめき合っているゾーンであった。(試合は東北六県の代表六校の総当たりリーグ戦による)

仙台育英高校(インターハイベスト4)以外のチームに全勝しないと東北予選を通過できないという厳しい状況の中、我がチームの作戦としては青森の伝統校である東奥学園高校、十一年度インターハイ開催地で強化している盛岡女子高校との「3校が2敗で三つ巴。あとはリーグ戦の星取り計算に」というものであった。

結果としては実力にまさる仙台育英が全勝で第1位。初日盛岡女子を3-1で振り切った東奥学園が1敗を守り第2位。米沢女子は初戦の盛岡女子戦を取りこぼし後の試合は力つき秋田聖霊校に惜敗し第5位に甘んじてしまった。この5位という最終成績は不本意

であるが、試合の内容が良かったこともあり、来年度への期待が膨らんだ。

(試合結果参照) 今後は接戦をものにするようにするため、技術力を上げること、日常活動を充実させるため部員各位の練習に対する目的意識を高めて行きたいと思う。

最後に、この大会に参加するにあたり、関係各位より沢山の応援やご後援がありましたことに対し感謝申し上げます。お礼とご報告に代えさせていただきます。

〈試合結果〉

第一試合

米沢女子 0-3 仙台育英 (宮城県)

1	横澤美保	0	11	10	21	21	2	小森
2	横山聖子	0	9	9	21	21	2	柏木
3	横澤美保	0	10	14	21	21	2	大畑
	齋藤 恵		21	21				鈴木

第二試合

米沢女子 0-3 盛岡女子 (岩手県)

1	齋藤 恵	1	16	21	17	21	2	小菅
2	横澤美保	0	20	15	22	21	2	菅原
3	横山聖子	0	17	13	21	21	2	菅原
	我妻智代		21	21				八重樫

第三試合

米沢女子 3-1 磐城第一 (福島県)

1	横澤美保	0	13	16	21	21	2	坂本
2	横山聖子	2	21	21	16	21	1	田浦
3	横澤美保	2	21	21	16	21	1	坂本
	齋藤 恵		21	21	14	15	21	大平

第四試合

米沢女子 2-3 聖霊女子 (秋田県)

1	横澤美保	0	20	17	22	21	2	川辺
2	横山聖子	2	21	21	11	11	0	佐藤

第五試合

米沢女子 0-3 東奥学園

3	横澤美保	0	15	12	21	21	2	川辺
4	我妻智代	2	21	21	21	19	1	三浦
5	齋藤 恵	1	18	21	20	22	2	大高

1	横山聖子	0	9	16	21	21	2	藤森
2	横澤美保	1	17	23	18	21	2	坂本
3	横澤美保	1	15	22	15	21	2	藤森
	齋藤 恵		21	20	21			工藤



各部顧問、来年度の抱負を語る

体育系

バスケットボール部

顧問 富樫宏之・齋藤佳子

バレーボール部

顧問 奥山 光彦

「改めて勝つ、さあ来い！」今年度の我々バスケットボール部の戦績は、県藤井・高野杯ベスト4、県高校総体ベスト8、県新人戦ベスト16でした。残念なことに、藤井・高野杯で初のベスト4に入り、「さあ、県高校総体は、決勝進出、東北大会出場だ」との強い思いと裏腹に敗退。真面目な活動を続けてきた生徒達には、良い結果を出してやるべきでなかった。さて来年度、現一・二年生は背丈の小さい分、走るバスケ、走るチーム”を目指し、少ない部員ではあるが、縦横無尽にコートを走り回っている。平成十一年度の具体的目標成績は、県総体ベスト4、県新人ベスト4。それから楽しみなのが男子バスケット部の活動である。一期生として九里で活動し、三年後にはインターハイを目指したいという新入生達。その夢、目標を追い続けさせる指導、達成させる為のコーチングをしたい。あつという間に過ぎ去る三年間。「部活動やってよかった」と思える活動を続けていきたい。

昨年度は上位高校に対しフルセットで戦えるまでに実力がついてきました。あと一步のところで勝利をのがしていますので、今年度は、勝負に強いチームをつくっていききたいです。また今年度から大幅にルールを改正される事になり、より確実性を重視されていくので、一つ一つ基本をマスターしていきたいと思います。私個人監督としては、仕事を言い訳にせず、毎日クラブ活動で指導する事を目標とします。

ハンドボール部

顧問 五島 訓一

ハンドボール競技は、人間の基本的な身体機能である走・跳・投のバランスのとれた発達を促します。やがて母体となる少女の時期に与えるスポーツとして、最適な運動と思います。一方選手にとつては、単に技術の習得に留めるだけでなく、強靱な身体

ソフトボール部

顧問 小林 圭一

鍛錬が不可欠になってきます。それ故に、女子の生徒にとつてはハードな練習に映るかもしれません。またチームスポーツですので、チームワークは勿論のこと、一人でも気力の乏しい者がいれば、試合はおろか、練習も成り立ちません。それ故のプレッシャーは、計り知れないものと思います。考えてみるに、高校部活動の教育的目標は、心身共に健全な全人格的な人間形成にあるのだと考えます。勿論勝利を追求する目的も必要だと思えます。県大会には、決勝で優勝を競えるチームを目標に、地味な練習と遠征試合を繰り返して行きたいと思えます。

剣道部

顧問 吉田 淳

クラブ運営上の悩みの一つであった練習場所について今年度から三條先生の御厚意で「恒武館」を借用させていただきました。事になりました。今までより近い場所にありますし、剣道専用の道場なので十分稽古ができるようになりました。しかし、今年度はチーム内での協力体勢が十分、図れなかつたために、目標としていた各種大会での上位入賞を果すことができませんでした。剣道は四分間の試合時間の中で、今まで練習してきた全ての力を出しきらなければなりません。それだけに剣道の技術

力を上げるだけでなく、精神面を鍛える事も必要です。来年度は、今年以上の成績をあげられるように、高い目標を持って、毎日の稽古を積み重ねていきたいと思います。また、男子部員が入部してくれば、今まで以上に質の高い練習が出来るので、男子部員も入部してほしいと願っています。

テニス部

顧問 小倉 勝利

今年度は県高校総体で団体3位の成績であった。個人戦の成績については今ひとつであったが、チームワークの良さや自主性が県大会入賞の原動力になったと考えられる。また、最近では一月の県大会(16才以下)で一年の海谷選手が準優勝し東北大会出場予定である。

来年度の抱負としては、県高校総体入賞、県新人大会で勝ち抜き東北高校選抜大会に出場する事を最低限の目標としたい。

男子部の創設については次のように計画している。活動については、男女別の考え方で行う。別競技ぐらいに考えていただければと考えている。コートについても男女それぞれにお願いしている。たとえば午前中に女子が活動していれば午後には男子が活動というスケジュールで行う。競技で勝つことも勿論であるが、男子には地域や進学先

でのリーダーとして活躍する事を期待する。

ソフトテニス部

顧問 宇津井幸子

二年生だけの部員で構成されているソフトテニス部です。今年度、ソフトテニス部の顧問として今井先生から引き継いでから一年間たちました。よし!!頑張るぞ、という気持で生徒に接しているものの『新入部員はとらない』方針。しかもゆくゆくは『魔部』。この二文字は、顧問として大変複雑な思いでした。とにかく、各種大会では少しでも良い成績があげられる様に頑張らせようと活動してきました。部員も途中からですが、新しく四、五名入部してきました。納得するまでには至りませんでした。惜しい試合はいくつかありました。悔しい思いをバネに次の試合へ……。精神面をもっと培う上にも、少なくとも、この部員達が卒業するまでは存続させてあげたい。そして



卒業する時には、一まわりも二まわりも成長し、社会に巣立ってほしい。顧問として、来年度の抱負、それはこのソフトテニス部をもっと心身両面において強くしていきたい。

バドミントン部

顧問 神尾 慶蔵

今年の部活動の反省から、来年度も「県大会で勝とう」を目標に活動する。五月の大会の団体戦で県大会への出場を駆け突破すべく、最善の努力をさせる。私達も、冬季練習、春休みの練習を通して、チームの最高の状態で試合に臨めるよう計画を立て努力していく。一年生は今年の地区大会で優勝している。これを基に更に力を付けさせる。基本の動きがスムーズにできるような基本のショットやフットワークを中心に練習をさせる。試合に臨むの一番大切な事なので生徒を励ましながら飽きずに十分体得できるよう指導していく。

来年からは男子が入学するので、希望者がいれば当然本クラブで活動できる。バドミントンは個人競技なので、本人のやる気があれば十分な活躍ができる。練習もコート人数により分けることで対応できるのでぜひ入部して頑張ってください。部活動の目標である「己に勝つ」を達成し、高校生活の充実感を味わってほしい。

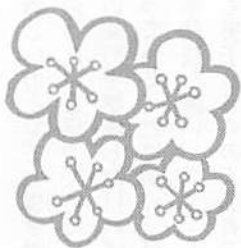
新体操部

顧問 高木ユキエ

我が新体操はたった四人だけのひっそりした部ですが、一人一人がボールとフープの演技を創り、その中にできるだけ高い難度を入れ、〇〇高校の〇〇さんには勝ちたいわ。と練習しています。今は、雪灯籠や三年生を送る会の準備のため、部員も顧問もなかなか一緒に練習できていませんが、時間を上手に使うて日々の積み重ねを怠らないようにしなければと思っっています。

いつも米女新体操部は大会に行くと、審査員の方に、「生懸命で健気な所が伝わってきます。」と誉められます。しかし、そのお誉めの言葉には「技術がアップするともっといいのに……。」が含まれています。次の大会では、「生懸命+健気+技術で審査員に「なかなかなるじゃない。」と感じさせるようにしたいです。

新体操と言えば華麗で美しいというイメージですが、そのイメージが崩れないような、心身に華麗で美しい部活動を目指して頑張ります。



陸上競技部

顧問 本田 米子

平成十一年度が、いよいよスタートします。今年の陸上部は、県高校総合七連覇、全国大会の入賞、なかなか果たせなかった全国高校女子駅伝大会に出場する事などを目標に、今はその準備をしています。目標達成の為に、悪条件の環境の中で、厳しいトレーニングにもじつと耐え、黙々と、努力する事を惜しまず、意欲的に練習に取り組んでいます。人間改革、人間成長を目指しながら、部員と一緒にその夢が実現できるように頑張りたいと思います。シーズンが到来したら、一気に花が咲くように、一日一日を大切に希望を持ち続けていきたいです。又、今年から校名も変わりますが、男女を問わず、やる気ある新入生を加え、活気あふれるクラブ作りをして、全国に九里学園高校をアピールしていきたいと思っています。今年も陸上部は、尚一層、気を引きしめて元気にスタートしていきます。御支援の程、宜しくお願致します。

卓球部

顧問 大滝 勤

十一年度はもちろんインターハイをねらいます。先頃行われました全国選

弓道部

顧問 福崎 正史

今年度は高体連が主催する県大会や県弓道連盟が主催する県大会には団体



・個人ともすべて出場できた。しかし、あと一步のところで、予選落ちするなど悔しい思いもした。従って、来年度の目標は当然、県大会に今年同様出場し、予選を突破、上位3位以内に喰い込むことに置きたい。幸いながら平成七年度、九年度に県大会で優勝並びに3位という実績もあるのです、それらを土台とし、強く戦って行きたい。

来年度からは学校の生活時間が変わり、下校時間が早まりますので、部員各位の取り組みに対する自覚や目的意識が更に高まるよう、今から訓練していきます。

く追いつき、新しい力として九里学園弓道部の名を示したいと思っています。弓具も男子用の豪弓を準備しなければならぬと思っています。とにかく、弓道は他の体育系競技と違い、スタートは同じ、女子も男子も多くの入部者で弓道場を一杯にできればと強く思っています。

サッカー部

顧問 熊澤 広二

今年度よりサッカー部が創設され、伝統ある九里学園の部活動に仲間入りしました。

近年のサッカーを取り巻く環境は大きく変化しています。Jリーグ発足を契機に競技レベルが向上し、競技人口においても低年齢層を中心に増加しています。このような中、サッカー部を創部することはとても意義深く、かつ責任の重大さを感じる所があります。さて、初年度においての活動は次の点を重視したいと考えています。

- ①サッカーを心から楽しめる活動にすること。
 - ②自主性・協調性を養なうこと。
 - ③基本的な生活態度を身につけること。
- 初年度のサッカー部はヨチヨチ歩きの赤ん坊と同じです。部活動後援会をはじめ皆様のご支援をどうぞよろしくお願いたします。

文化系

演劇部

顧問 鈴木 淳子

来年度の抱負

今年度の活動は、定期公演、地区大会の発表、三年生を送る会の三回の舞台が中心となった。念願の創作を地区大会で発表し、顧問の中で評価はうけたけれど、地区代表は逃してしまったことが心残りな一年間になった。そこで、来年度は、是非県大会の出場を目指し、しっかりとした台本で、しっかりした舞台を作りたいと思う。定期公演も二時間物を取り組ませたい。男子を受け入れての活動

男子生徒が入部することで、とりあげることでできる脚本の幅が大きく広がってくる。男子の存在感の大きさも演劇の厚みを増す。練習の仕方は基本的に男子用の練習と言うことはないが、女子のあいだでも臆することなく堂々と演技できる自信をつけさせたいと思う。また、全国大会も山形市でおこなわれるので多くの公演を見せて演劇の面白さに開眼させたい。

吹奏楽部

顧問 井澤 治・上村匡子

吹奏楽部にとって男子が入部すると

いうことは、とても大きなプラスになると思います。

これまでは当然のことながら置賜地区唯一の女子だけのバンドだったわけですが、それゆえ柔らかな音色と繊細なアンサンブルを目標にして日々の活動を行ってきました。しかし、他校のような男子も含むバンドに比べると、パワフルでポリュウム感のある表現力に乏しく、ダイナミックレンジの狭い演奏になっていたことは否めません。さらにチューバやB・サククスなどの低域を受け持つ大型の楽器は、肺活量はもちろん、それを支え持つだけの体格と体力も必要です。男子の入部によりこれらの弱点を補強できれば、コンクールなどでもようやく他校と同じ土俵の上で競いあえることになりそうです。今後は男女仲良く、足りない点を補い合って、一つ一つの音を大切に演奏をしていきたいと思っています。

音楽部

顧問 藤巻 芳子

来年度も今年同様、歌うこと、合奏を活動の中心にします。課題は山程あります。まず声を出す事。体全体で響かせて、深く奥行のある発声をする事が、何よりも大切。なんとか正しい発声法をマスターさせたいと強く思っています。次はチームワークです。一人だけで頑張っても合唱にはなりません。

書道部

顧問 須藤喜美子

日々のコミュニケーションを豊かに積み重ね、美しい音楽を創りあげようとする気持ちを高め、互いの心と心をつないでいきたいと思っています。何よりも合唱を通して、一人一人が人間として確かな成長のステップを踏む事が目標です。自己主張の中でぶつかり合ったり、仲直りしたり、理解し合ったり、認め合ったりしながら、自分が以前よりちよつと大人になったと思える様でありたいと思います。

男子も大歓迎です。しっかり声が出せれば、少人数でも十分に男声パートとして通用します。ピアノ伴奏や指揮を受け持つていただいてもいいです。入部お待ちします。

平成十一年度は、何と言っても全国高総文祭の本県開催の年だ。多忙を極めると思うが、先ず、忙しさに押しつぶされずに生徒を存分に楽しませ感動の多い年にしたいと思っている。書道部門の作品は、より良いものを書かせたいし、書道吟は地元米沢での発表のためより熱の入ったものにした。交流会での歓迎の挨拶など生徒の出番も多い。せつかくのチャンスととらえ生徒が大きく成長出来るように指導したい。そのことが、書を通して全国への山形文化の発進になればと思う。



男子生徒は積極的に受け入れたい。他校の男子書道部員(山南・日大・米沢中央など)を相手にしてきたが、受け入れることでもっとダイナミックな活動が期待できそうだからだ。又、今までの日常活動もしつかりと出ているので、男子の受け入れによって何ら変わることもなく、むしろバラエティに富んだ、作品もスケールの大きなものが出来そう。楽しみにしている。

美術部

顧問 長岡 直浩

地区の高校美術展では、ほとんどが女子生徒だけの情感あふれる作品群になってしまったが、県の美術展になると男子生徒の作品も少し増えてきて、粗削りでもスケールの大きな男子生徒の作品に出会える楽しみがある。本校でも男子の入部が実現するかもしれない。何人獲得できるかは全くわからないが、将来の仕事につなげて考え、活動を通して目標を見つけてくれると良いなと思っていますし、部の活動の幅が広がることを願っています。又、今年是全国高校総合文化祭が開催される年、山形美術館が全国の高校生の作品で埋め尽くされる夏に、各県を代表する絵や彫刻、個性や地方色あふれる作品に出会えることを思うだけで気持ちがあわくわくしてきます。そして、生徒交流の場の企画として、作品を題材にして生徒の意見交換の場をより多く設けるとのことですから、これからも活動を活発にして臆することなく交流会に参加して来たいものです。

茶道部

顧問 町田 悦子

学校茶道は、今の生徒達には大変地味で堅苦しい部活動という印象が強い

ようです。しかし本校では少人数ながら、週三回の練習で共に教え合いながらお点前の習得に努めています。なかなか発表する場がありませんが、今年八月には、全国高総文祭の置賜地区会場で、全国から集まる多くの方々にお茶をお出しすることになりました。まず、来年度の抱負は、各々の生徒たちが日々の練習を十分に積み重ねて、本番の日には自信を持ってお点前できるようになることです。出場する生徒は二名だけですが、その仲間を支えています。部員たちの意気の合ったチームプレーも養っていかなければなりません。

(八月一日 於ギャラリードリーム)

茶道部は男子の入部も大歓迎です。男子のお点前は女子と多少違うところはあるようですが、なにせ、茶道を大成させたのは千利休ですから問題は全くありません。「静」としての活動にも関心を持ってくれる男子がいれば、一層茶道部にも活気が生まれることでしょう。

青少年赤十字部

顧問 遠藤岩根・福山里佳

我々のクラブは、様々なヴォランティア活動等を通して、赤十字精神を体得するのが目的である。

現在の国際社会、冷戦構造が解けたとはいえ、予想もしなかった数多くの地域紛争がおこっている。そして、そ

こに派遣された国際赤十字のスタッフが犠牲になる例も報告されている。人道の精神以外何もなく、ひたすら世界平和のため、自ら招かざる苦痛に苦しむ人々を救済しようとするスタッフが犠牲になることは決してあってはならないことなのだ。これから国際人としてはばたく生徒諸君にこのことをしっかり伝えてゆきたい。

そのために、「赤十字の歴史と精神」を、さまざまな機会をとらえて定着してもらいたいと思っています。

ところで、青少年赤十字には三つの実践目標があるが二つ目の「奉仕」にかたよることなく、三つ目の「国際理解・親善」にむけての活動も展開してみたいものと楽しみにしている。

ストリング アンサンブル部

顧問 鍛冶 迪雄

ストリング・アンサンブル部員の大増員が最大の目標です。活動は従来と変わりありませんが、技術指導として外部から講師をお願いしたいと思っています。

新年度は全国高等学校総合文化祭のオーケストラ発表は山形市で行われまですので一人でも多くの部員を参加させ全国レベルを聴かせて刺激を与えたい。本県は六校合同のオーケストラを編成し、ベートーヴェン作曲の交響曲第五番「運命」を演奏することになっていきますので、少しでも弾けるようにみんなで頑張ります。春休み、五月の連休の合宿、又、夏休みの合同合宿に参加したいと思えます。



文芸部

顧問 上村 英俊

文芸部は、文芸作品の創作と同人誌出版を活動の中心としている。作品集を発行することは、やったことが形になるだけに、みんな熱心に取り組めるのだが、作品自体の質の向上となると、目に見えない様々なことがあるため、なかなかなされてない現状もある。普段見聞きしているメディアの質を上げるとともに作品のレベルをあげさせたいと考えている。

男子部員の感性や行動力が、女子部員の感性とともに互いの視野を広げる効果を期待している。合評会や、編集会議が活性化し、今まで気づけなかった世界に視野が広がっていけば、作品の質も自ずと高まっていくと思われる。

社会部

顧問 遠藤 英

二年前から、「自分たちの手でわかりやすく内容の濃い米沢のガイドブックを作ろう」という目標を掲げて取り組んできた。本年度は米沢の素晴らしさを知ってほしいという思いから、米織をテーマに研究し、昨秋には県の社会系クラブの発表会で優秀賞をいただいた。

三年生が引退してからは、二年生を

中心に「現存する城下町の痕跡を掘り起こし城下町米沢をよみがえらせよう」というテーマを設定して、すでに活動を始めている。このような調査・研究活動を楽しみながら頑張れる新人生を確保し、活発な活動をしていきたいと思う。

男子入部については、女子とはまた違った視点、興味・関心、力を発揮してくれるものと考えている。来年度は今まで以上に外に出て、より活動的な活動にしていきたいと思う。充実した活動・研究成果に向けて、男子の力に期待している。

自然科学部

顧問 落合 重忠

来年度の抱負

現在の部員は積極的で真面目な生徒であるので、これを核に更に発展させ、充実した活動にしていきたい。科学の活動はなんといっても研究テーマの設定に左右されるので、継続できるテーマをしっかりとさせることが肝要である。いろいろ模索しているが、何かいいテーマがあったら紹介していたきたいい。

男子の受け入れ

積極的に受け入れたいと考えている。活動内容については男女共通に調査研究する場合もあるし、別々に研究テーマを決めて行う場合もある。具体的な

ことについては入部した部員と十分話し合いながら、部員が意欲をもってやっていけるテーマを設定したい。

英語部

顧問 酒井 脩一

来年度の抱負

今年はずっと先生脚本のドラマ『日本人のオーストラリア旅行』が大成功だった。来年度はスピーツに力点を入れるか、今年同様に、ドラマづくりにウェイトを置くか検討中。いずれにしても、生きた英語力の実力養成を目標に活動を展開していきたい。ポーン先生も張り切っております。今年度同様、充実した活動を継続していきたい。

男子の受け入れ

男子生徒が入部しても基本的には活動内容が変わりません。英語の好きな生徒、英語に強い関心のある生徒は男女を問わず歓迎致します。

フープ部

顧問 荒澤 由美

活動内容は、各種検定のための練習や大会出場へ向けての練習が中心です。大会では、十分間に間違いなく何文字入力できるかが競い合われます。クラブ活動では、少しでも打数が増えるよ

うに練習に励んでいます。地味で根気のいる活動ですので続けることが、容易ではありません。生徒達の意識の中に大会で入賞したいという気持ちが少しずつでてきたのでたのしく思っています。

来年度から男子が入るわけですが、クラブ活動は個々の活動ですので男子・女子問わず、歓迎したいと思えます。大会でも男子生徒の活躍がみうけられます。活動は今までどおりですが、期待できるかと思えます。

ジャズダンス部

顧問 宮下説子・刈田睦

毎年四月から五月にかけて、たくさん入部希望がありますが、実際に活動を続けることができるのはその四分の一くらいの人たちです。来年度は、本当に躍ることの好きな人たちが集まり活動するクラブになればと思っております。そのためにも、毎日のクラブの練習内容をもっと吟味し、発表会が目の前になくても充実した活動ができるようにしたいと思えます。また、男子も一緒に活動し、男子のエネルギーや男子ならではのダンスをミックスし、全体的にパワーアップができればと考えております。

珠算部

顧問 長谷川美恵子

「鉄は熱いうちに打て」等と言われているように、基礎基本の重要さは昔からいわれています。計算用具の機械化によりソロバンを使用するのが少なくなっている昨今です。これからの日本経済はさらに複雑化し、拡大化される中で、今まで以上に高い計数能力の育成が必要とされるのではないのでしょうか。

私達珠算部は、日本伝統文化の一つであるソロバンによる計算技能にプラスし、電卓も使用し、計数能力を養い、集中力や忍耐力をつけ、興味関心をもち、楽しみながら活発な活動をしています。

目標として、
“一に練習、二に練習” 上級検定合格を目ざし、明るく元気な活動をし、休まず真面目にがんばろう！とし、珠算検定・電卓検定試験に挑戦し、各自上級合格を目ざして資格を取得し自分の宝物としてがんばっています。
たくさんの新入生部員を大歓迎致します。



生活科学部

顧問 八ツ賀美智子

生活科学部は、「生活の中の疑問を調べてみよう。生活に役立つ物を作ろう。生活を豊かにするために、どんな工夫をしたらよいか考えてみよう。」このような事が活動目標です。今年、「自然の物を生活に取り入れよう」のテーマでハーブなど植物の効用について調べました。来年度は、新校舎が完成し家庭科教室も生まれ変わります。被服室、調理室での活動が可能です。環境やゴミの問題、食品の問題、消費者としての問題など生活の中のいろいろな問題をテーマに部員みんなで考えたいと思います。また、手芸作品の製作やクッキングなどもやりたいと考えています。男子生徒の入部は、大歓迎です。それは、私達の暮らし、生活文化は、男女が協力し助け合うことによってより良いものにしてきたからです。今までの部活動から、一歩前進して充実した楽しい部活動にしてゆきたいと心を膨らませていきます。

イラストアニメ愛好会

顧問 大木 善子

今までもそうであったが、イラストアニメ愛好会の目標は、「まんが甲子園」(全国高等学校漫画選手権大会)に

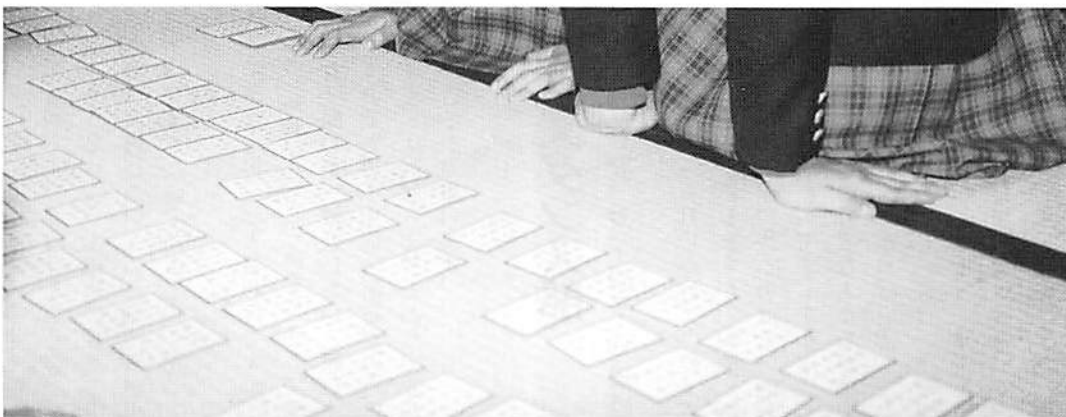
えてかるたの楽しさを体験できるまで持ちこたえられるかが大きなポイントになると思っています。

作品を出して入賞することである。ここ数年毎年作品を出してはいるが、全国レベルは高く入賞するにはまだまだという状態である。四月から男子生徒も入部してくるという事で、今までとは違いかなり大胆なアイデア等も出て、いいところまでいくのではと期待しているところである。
又、今年は活動の幅を少し広げ、生徒会主催の行事をPRするためのイラスト入りポスターを書き、みんなに見てもらいたいと思っている。少しづつではあるが、マンネリ化を打破する努力をしていきたいと思っている。

小倉百人一首かるた部

顧問 白岩 正隆

今年度の全国高総文祭鳥取大会へ本校からも山形県チームの有力メンバーとして三年生の朝倉美由紀さんが参加してくれました。来年度も地元の米沢市営体育館で行われる全国高総文祭に山形県代表として選手を送り込むことが目標です。しかし、朝倉さんが引退した後、その意志を継いでくれる後輩が続かなかったことはとても残念なことでした。かるた競技そのものは男女の別なく行うことが出来る競技なので、そういう意味では来年度からの男子の入部に期待するところも大きいのですが、短歌を百首暗記するという特殊なスタートになるだけに、それを乗り越



平成十年度 特別教育活動優秀賞受賞者

功績賞

※全国大会で受賞した者に送られる

陸上部



3-1 原田真理子 氏家中



3-1 長沼 朱美 飯豊中

功労賞

※全国大会に出場した者に送られる

陸上部

- 3年 長沼真知子 長北中
- 3年 宮城 里美 長北中
- 3年 石川 里香 米6中
- 3年 五十嵐佳代 長南中
- 3年 島貫 幸 米6中
- 3年 鈴木 梨恵 米1中
- 3年 小形 陽子 上郷中
- 3年 高橋 智子 上山南
- 2年 酒井 恵 小国中
- 2年 鈴木佐知子 赤湯中
- 2年 渡部希和子 長北中
- 2年 古川 聡子 飯豊中
- 1年 長沼 史子 米1中
- 1年 伊藤和代娘 赤湯中
- 1年 木嶋 春香 赤湯中

卓球部

1年 齋藤 恵 川1中

書道部

3年 皆川 朱美 高4中
 3年 佐藤 千春 高2中
 2年 佐藤ひとみ 上郷中

百人一首カルタ愛好会

3年 朝倉美由紀 米6中

優秀賞

陸上部

- 3年 竹田久美子 飯豊中
- 3年 伊藤 史恵 米3中
- 3年 大友 真純 吉島中
- 2年 菅野 智子 赤湯中
- 2年 長沼 理恵 飯豊中
- 2年 鈴木 淑生 上山南
- 2年 遠藤友紀恵 飯豊中
- 2年 高橋ゆかり 米6中
- 1年 佐藤 幸恵 赤湯中
- 1年 高橋 香織 米2中
- 1年 米野由香里 飯豊中
- 1年 安部明日香 上郷中

弓道部

2年 鈴木 芳 川1中

卓球部

3年 遠藤亜由美 南原中
 3年 秋場 美香 南原中
 3年 井上美有紀 米1中

美術部

3年 池内 葉子 南原中
 3年 鈴木美智代 宮内中
 2年 横澤 美保 長南中
 2年 若笠 瞳 米1中
 2年 我妻 智代 高1中
 2年 横山 聖子 川1中
 1年 佐藤千郁子 川1中
 1年 飯沢 美里 長北中

テニス部

3年 高橋 澄圭 高3中
 3年 松村 順子 米5中
 3年 島貫 和美 高4中
 3年 星里 江子 赤湯中
 3年 海谷 恵 米3中
 3年 高橋 葵 川西中
 2年 松本あい子 米4中
 2年 渡部 梨絵 米2中
 1年 海谷 希 米3中
 1年 市村 直子 上郷中
 1年 長谷川 円 米2中

バスケットボール部

3年 長澤 翠 米4中
 3年 小松 厚子 高1中
 3年 三瓶真梨子 米4中
 3年 高橋 真生 宮内中
 3年 太田麻衣子 米6中
 3年 我妻 里美 高4中
 3年 伊藤真由美 米2中
 3年 小浅 浩子 米4中
 3年 高橋美津子 米2中

書道部

3年 鈴木 順子 米2中
 3年 木村 妙子 米5中
 3年 高橋千沙子 米6中
 3年 小野 玲子 米4中
 3年 岡崎 綾子 米2中
 3年 二宮 里美 米2中

努力賞

3年 鈴木 順子 米2中
 3年 木村 妙子 米5中
 3年 高橋千沙子 米6中
 3年 小野 玲子 米4中
 3年 岡崎 綾子 米2中
 3年 二宮 里美 米2中

剣道部

3年 小林 聖子 赤湯中

ソフトボール部

3年 秋葉 歩 米3中
 3年 横山 博子 宮内中
 3年 井上 祥子 川西中
 3年 坂由 香理 米1中

バドミントン部

3年 高橋 絵美 長南中
 3年 渡部英理香 米3中

ハンドボール部

3年 浜野 美樹 米5中
 3年 須田 善美 米5中
 3年 竹田めぐみ 飯豊中
 3年 山口 亜希 飯豊中

弓道部

3年 佐藤 靖子 米2中
 3年 坂野 恵理 米4中
 3年 安部 千鶴 上郷中
 3年 後藤富貴子 米6中
 3年 石山 恵理 上郷中
 3年 佐藤 恵 上郷中

英語部

3年 前山 麻衣 米5中

演劇部

3年 舟山 愛美 川西中
 3年 永井さくら 米1中

音楽部

3年 深井 愛 米1中

茶道部

3年 安久津 恵 沖郷中

社会部

3年 小林 純子 米2中

JRC

3年 関場 恵美 米2中
 3年 永島 友紀 漆山中
 3年 鈴木 早苗 米6中

吹奏楽部

3年 佐藤 美晴 米6中
 3年 情野 裕子 米3中
 3年 高石 香織 長南中
 3年 安部千佳子 長南中
 3年 斎藤 聡美 米4中
 3年 鈴木 久美 上郷中
 3年 鈴木 幸子 米1中

団体賞

3年 手塚 美幸 飯豊中
 3年 栗田 愛子 米6中
 3年 千葉亜矢子 米5中
 3年 工藤 清美 米1中
 3年 島津 恵子 米4中
 3年 鈴木 佳代 米5中

ストリングアンサンブル

3年 金田美沙子 米4中
 3年 佐藤いづみ 米4中
 3年 小沼由紀子 米1中
 3年 斎藤 美和 南原中
 3年 我妻美耶子 米5中
 3年 山口 絵美 米3中

ワープロ部

3年 鈴木 淳子 米4中
 3年 熊谷 淳 飯豊中
 3年 高野恵里子 米2中
 3年 田中 恵 飯豊中
 3年 山吉 真由 米3中
 3年 石井 純子 米2中
 3年 梅津 早苗 米3中
 3年 尾形 美晴 米6中
 3年 田口 奏絵 米1中

イラストアニメ愛好会

3年 田中 理恵 南原中

団体賞

陸上競技部
 書道部

平成10年度 部活動後援会法人会員一覧

- (株)エスワン
- (有)平田自動車工業
- かねしめ水産
- 不動産センターヤマジユ
- 中條齒科医院
- 扇屋旅館
- 平和軒
- 城南産業
- 福助
- 笹生齒科医院
- (有)色部組
- 本多建設
- 小嶋総本店
- エー・ビー・エム(株)
- 岸製麺(有)
- べにはな
- 小泉創芸(株)
- 共立建設(株)
- 小林製氷
- 千代田電工
- 伊藤齒科医院
- 丸定
- 吾妻自動車学校
- 大丸石油
- (株)川島印刷
- 羽生
- 松が岬自動車学校
- (株)佐藤防災
- カワサキ印刷
- 滝ベン塗装
- (株)北宣
- (株)唐沢物流
- (株)松本時計店
- (有)鳥勝牛肉店
- 平山孫兵衛商店
- 今井健次(商店)
- 麻屋フトン店
- 花のえちこや
- ヤリミズ自動車
- (株)嵐田絹織
- いっき茶屋
- 黒田商店
- 新田機業
- (株)佐竹鉄工
- エルム・アベ
- (株)太田木材
- 加藤真琴
- (株)カトベン
- (株)スズデン
- キムラ
- (株)ナウエル
- 城南牛乳
- 米沢ツーリストサービス
- 青葉堂印刷
- 太田建設
- (株)大木建築硝子
- (株)佐藤建材
- (株)日建設備
- (有)インテリアニイゼキ
- 山形ニッタン米沢営業所
- 五十嵐会計事務所
- 安全自動車
- 村正運輸
- レダ・クイーン
- ヒューマンポテンシャル研究所
- 横山建築
- 上杉城史苑
- (有)タカモク
- 加東産業不動産
- 酒井塗装所
- 進沼左官工業
- 井上板金工業所
- インテリア雅
- ローソン本町2丁目店
- 尾形商店
- (有)大泉鉄工所
- 東北新日軽(株)
- 森谷電工(有)
- 秋野左官店
- 鈴木木工所
- 土木施行山口
- 北原産業
- (株)四釜製作所
- (株)昌和製作所
- (株)米沢紀伊国屋
- キョウドウ印刷
- (有)金内商店
- 小松組
- (有)佐藤造園
- 小形司法書士
- バナックNS
- 角屋商店
- 山形ナショナル電機
- 山田憲一
- 橋爪司法書士事務所
- 日本防災工業(株)
- 星野和男
- (有)原田電気工事
- 齋藤俊一税理士事務所
- 戸部電材(株)米沢(営)
- 高橋電設
- 大竹精肉店
- 有限会社厚生社
- (有)桐生建設
- 有限会社シャトレ
- やまや総建永橋組
- 情野冷熱機工(株)
- 相田測量事務所
- 若月電気管理事務所
- 平野建築事務所
- 五稜開発工業
- 高橋(四郎)電設
- 安田火災海上保険
- (有)尾形建築
- (株)大三美装
- サイクルハウス前山
- (有)豊川興産
- (有)広伸電機
- (株)後藤組
- (有)あずき開発
- (株)ハラダ工業
- 二ノミヤ電機(株)
- (有)ヤマザキレンタル
- 長井製作所
- 朝日金属工業(株)
- トップパーツ
- 大真ホデー
- 日進堂菓子舗
- S.P.プランニング
- 特急寿司
- だるま寿司
- 丸太屋
- かど久
- リサイクルセンター山鋼

九里学園高等学校体育文化活動後援会 会員募集

本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

- 特別会員
年会費 一〇三、〇〇〇円
(〇数は問わず)
- 法人会費
年会費 一〇一〇、〇〇〇円
(〇数は問わず)

新規会員を募集しております。
御問い合わせは後援会事務局まで(一報下さい)。(担当・福岡)

発行

米沢女子高等学校部活動後援会

事務局 米沢市門東町1-1-72
米沢女子高等学校内
TEL. 0238-22-0091
FAX. 0238-22-0092